

■山川均 社会主義思想家。転変の後、日本共産党の創立に参画、“山川イズム”は最高の指針となった。

やまかわひとし

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 岡山県倉敷で、長男に生まれる。

明治14年政変1881 = 1歳：

帝国憲法発布1889 = 9歳：

小学校時代、大原孫三郎の友人。

日清戦争始・1894 = 14歳：

日清戦争終・1895 = 15歳：高等小学校を卒業し、同志社補習科に入学したが、

八幡製鉄始・1897 = 17歳：中退し、上京、守田文治(有秋)を知った。明治義会中学に編入、

子規句歌革新1898 = 18歳：

日ノ国産化・1900 = 20歳： 守田と始めた小雑誌{青年の福音}掲載の一文がもとで不敬罪に問われ、

田中正造直訴1901 = 21歳： 控訴審で重禁錮3年6ヵ月の刑となり入獄。

獄中で、スミス・リカード・マーシャルらの経済学を独習して、

日露戦争始・1904 = 24歳： 仮出獄、平民社を訪ね、幸徳秋水を知った後、帰郷、義兄の薬店を手伝う。

日露戦争終・1905 = 25歳：

満鉄発足・・・1906 = 26歳： 日本社会党に入党。幸徳の招きで再び上京、同党の機関紙日刊{平民新聞}の編集に従事した。

韓国反日暴動1907 = 27歳： 「マルクスの資本論」を連載。

アラビヤ 創刊・1908 = 28歳： 講演や筆禍で検挙された後、<赤旗事件>で懲役2年の刑となり投獄されたため、

韓国併合・・・1910 = 30歳： <大逆事件>を免れ、

出獄後、郷里に退き、倉敷で薬店を経営、

明治天皇没・1912 = 32歳：

大正政変・・・1913 = 33歳： 妻と死別する。

鹿児島で山羊の農場を経営するうち、

民本主義・・・1916 = 36歳： 堺利彦の呼びかけに応じて上京、{売文社}に入り、ふたたび社会主義運動に参加した。青山菊栄と再婚。

本格政党内閣1918 = 38歳： 労働者の立場から吉野作造らの民本主義批判を行う一方、荒畑寒村と労働組合研究会をつくり、

青島問題 1919 = 39歳： {青服}を発行。筆禍で禁固4ヶ月、

大暴落・・・1920 = 40歳： 出獄。堺らと{社会主義研究}を創刊し、マルクス主義とロシア革命の普及活動に尽力する。

原敬首相暗殺 1921 = 41歳： 日本社会主義同盟に参加、

水平社結成・1922 = 42歳： 菊栄と共著「労農ロシアの研究」。

関東大震災・1923 = 43歳： *日本共産党の創立に参画。{前衛}を創刊。同誌に載せた'無産階級運動の方向転換'は、当時の運動に大きな影響を与え、いわゆる“山川イズム”として、“福本イズム”が出現するまで最高の指針となった。

護憲三派圧勝1924 = 44歳： <第一次共産党事件>に連座して起訴される。

治安維持法・1925 = 45歳： 「労働組合組織論」「無産階級の政治運動」、

円本時代始・1926 = 46歳： 安部、堺との共編「社会問題叢書」、

金融恐慌・・・1927 = 47歳： 証拠不十分で無罪となった。

コミンテルンから、日和見主義として福本とともに招集されるも、“二七テーゼ”決定には欠席。堺、荒畑猪俣らと{労農}を創刊、協同戦線論を展開するとともに労農派マルクス主義の総帥として活動。

共産党事件・1928 = 48歳： *日本大衆党を結成。

満州事変・・・1931 = 51歳： 評論活動に入る。

帝人疑獄事件1934 = 54歳：

二二六事件・1936 = 56歳： 鎌倉郡の弥勒寺で{湘南うずら園}の経営を開始したが、

日中戦争始・1937 = 57歳： <人民戦線事件>で検挙され、

一審で懲役7年、

日米開戦・・・1941 = 61歳：

二審で懲役5年であったが、

創価学会検挙1943 = 63歳：

上告審中に、

敗戦・・・・1945 = 65歳： <敗戦>となり、疎開先の広島から上京、

新憲法公布・1946 = 66歳： *民主人民戦線を提唱、大きな反響を得て、{民主人民連盟}を創立して委員長となったが、

新憲法施行・1947 = 67歳： 社会党の反共主義・共産党のセクト主義のため、連盟は活動をすることなく自然解消。日本社会党に入党し、向坂逸郎らと{前進}を創刊、左派の立場に立って活動、

独立回復・・・1951 = 71歳： 向坂らと{社会主義協会}を創設する。

メーデー事件・1952 = 72歳：

その後も旺盛な評論活動を続け、
左派社会党から表彰を受けるなどしたが、

なべ底不況・1957 = 77歳： *発病し、

インスリン療法・1958 = 78歳： 膵臓癌で没した。